

中学歴史	江戸時代③	年組番	1問 5点
江戸幕府の政治改革と 化政文化		名前	/100

①	江戸幕府8代将軍、徳川吉宗がおこなった改革	きょうほう かいかく 享保の改革
②	徳川吉宗が、庶民の意見を取り入れるため、 江戸に設置したもの	めやすばこ 目安箱
③	徳川吉宗が定めた、裁判の基準となる法律	くじかたおさだめがき 公事方御定書
④	株仲間を奨励し、積極的な商業政策を推し進めるも、 わいろや天明の飢饉などによって失脚した老中	たぬまおきつぐ 田沼意次
⑤	④のあとに老中となった、松平定信がおこなった政治	かんせい かいかく 寛政の改革
⑥	江戸幕府が、湯島の聖堂に昌平坂学問所をつくり、学ばせた学問	しゅしがく 朱子学
⑦	「古事記」を研究して、「古事記伝」を著した人物	もとりのりなが 本居宣長
⑧	「古事記」や「日本書紀」などの古典の研究を通じ、 日本古来の精神を追求しようとする文学	こくがく 国学
⑨	オランダから日本に伝わった、西洋の学問や技術を研究する学問	らんがく 蘭学
⑩	杉田玄白や前野良沢らが、 オランダ語で書かれた人体解剖書を翻訳して出版した書物	かいたいしんしょ 解体新書
⑪	全国を測量して、日本で初めて正確な日本地図を作成した人物	いのうただたか 伊能忠敬
⑫	江戸時代後期、江戸の町人が担い手となった文化	かせいぶんか 化政文化
⑬	社会の風刺や皮肉、しゃれなどを盛り込んだ、 五・七・五・七・七の短歌	きょうか 狂歌
⑭	五・七・五の音をもつ、日本語の定型詩	せんりゅう 川柳
⑮	小説、「東海道中膝栗毛」の作者	じっぺんしやいっく 十返舎一九
⑯	松尾芭蕉、与謝蕪村とならんで、江戸の三大俳人とされた人物	こばやし いっさ 小林一茶
⑰	「富嶽三十六景」が代表作である浮世絵師	かつしかほくさい 葛飾北斎
⑱	「東海道五十三次」が代表作である浮世絵師	うたがわひろしげ 歌川広重
⑲	町人や百姓のこどもが「読み・書き・そろばん」を学んだ場所	てらこや 寺子屋
⑳	各地の藩が、子弟を教育するために設立した学校	はんこう 藩校

中学歴史	江戸時代③	年組番	1問 5点
江戸幕府の政治改革と 化政文化		名前	／100

①	きょうほう かいかく 享保の改革	江戸幕府（ 8 ）代将軍、（ 徳川吉宗 ）がおこなった改革
②	めやすばこ 目安箱	徳川吉宗が、（ 庶民の意見を取り入れる ）ため、江戸に設置したもの
③	くじかたおさだめがき 公事方御定書	徳川吉宗が定めた、（ 裁判の基準 ）となる法律
④	たぬまおきつぐ 田沼意次	（ 株仲間 ）を奨励し、積極的な商業政策を推し進めるも、（ わいろ ）や天明の飢饉などによって失脚した（ 老中 ）
⑤	かんせい かいかく 寛政の改革	田沼意次のあとに（ 老中 ）となった、（ 松平定信 ）がおこなった政治
⑥	しゅしがく 朱子学	江戸幕府が、（ 湯島 ）の聖堂に（ 昌平坂学問所 ）をつくり、学ばせた学問
⑦	もとりのりなが 本居宣長	「古事記」を研究して、「（ 古事記伝 ）」を著した人物
⑧	こくがく 国学	「古事記」や「（ 日本書紀 ）」などの古典の研究を通じ、日本古来の精神を追求しようとする文学
⑨	らんがく 蘭学	（ オランダ ）から日本に伝わった、西洋の学問や技術を研究する学問
⑩	かいたいしんしょ 解体新書	（ 杉田玄白 ）や前野良沢らが、オランダ語で書かれた（ 人体解剖書 ）を翻訳して出版した書物
⑪	いのうただたか 伊能忠敬	（ 全国を測量 ）して、日本で初めて正確な（ 日本地図 ）を作成した人物
⑫	かせいぶんか 化政文化	江戸時代後期、（ 江戸の町人 ）が担い手となった文化
⑬	きょうか 狂歌	社会の（ 風刺 ）や皮肉、（ しゃれ ）などを盛り込んだ、五・七・五・七・七の（ 短歌 ）
⑭	せんりゅう 川柳	（ 五・七・五 ）の音をもつ、日本語の定型詩
⑮	じっぺんしゃいっく 十返舎一九	小説、「（ 東海道中膝栗毛 ）」の作者
⑯	こばやし いっさ 小林一茶	（ 松尾芭蕉 ）、（ 与謝蕪村 ）とならんで、江戸の三大（ 俳人 ）とされた人物
⑰	かつしかほくさい 葛飾北斎	「（ 富嶽三十六景 ）」が代表作である浮世絵師
⑱	うたがわひろしげ 歌川広重	「（ 東海道五十三次 ）」が代表作である浮世絵師
⑲	てらこや 寺子屋	町人や百姓のこどもが「（ 読み・書き・そろばん ）」を学んだ場所
⑳	はんこう 藩校	各地の（ 藩 ）が、子弟を（ 教育 ）するために設立した学校

中学歴史	江戸時代③	年組番	1問 5点
江戸幕府の政治改革と 化政文化		名前	/100

①	きょうほう かいかく 享保の改革	江戸幕府8代将軍、徳川吉宗がおこなった改革
②	めやすばこ 目安箱	徳川吉宗が、庶民の意見を取り入れるため、 江戸に設置したもの
③	くじかたおきだめがき 公事方御定書	徳川吉宗が定めた、裁判の基準となる法律
④	たぬまおきつぐ 田沼意次	株仲間を奨励し、積極的な商業政策を推し進めるも、 わいろや天明の飢饉などによって失脚した老中
⑤	かんせい かいかく 寛政の改革	田沼意次のあとに老中となった、松平定信がおこなった政治
⑥	しゅしがく 朱子学	江戸幕府が、湯島の聖堂に昌平坂学問所をつくり、学ばせた学問
⑦	もとおりのりなが 本居宣長	「古事記」を研究して、「古事記伝」を著した人物
⑧	こくがく 国学	「古事記」や「日本書紀」などの古典の研究を通じ、 日本古来の精神を追求しようとする文学
⑨	らんがく 蘭学	オランダから日本に伝わった、西洋の学問や技術を研究する学問
⑩	かいたいしんしょ 解体新書	杉田玄白や前野良沢らが、 オランダ語で書かれた人体解剖書を翻訳して出版した書物
⑪	いのうただたか 伊能忠敬	全国を測量して、日本で初めて正確な日本地図を作成した人物
⑫	かせいぶんか 化政文化	江戸時代後期、江戸の町人が担い手となった文化
⑬	きょうか 狂歌	社会の風刺や皮肉、しゃれなどを盛り込んだ、 五・七・五・七・七の短歌
⑭	せんりゅう 川柳	五・七・五の音をもつ、日本語の定型詩
⑮	じっぺんしゃいっく 十返舎一九	小説、「東海道中膝栗毛」の作者
⑯	こばやし いっさ 小林一茶	松尾芭蕉、与謝蕪村とならんで、江戸の三大俳人とされた人物
⑰	かつしかほくさい 葛飾北斎	「富嶽三十六景」が代表作である浮世絵師
⑱	うたがわひろしげ 歌川広重	「東海道五十三次」が代表作である浮世絵師
⑲	てらこや 寺子屋	町人や百姓のこどもが「読み・書き・そろばん」を学んだ場所
⑳	はんこう 藩校	各地の藩が、子弟を教育するために設立した学校